

## はじめに

本書は東京工業大学リベラルアーツ研究教育院で行われている「教養特論: ライティングスキル」の教科書である。ライティングは実際に書かずして、身につく技能ではない。技能とは気がついたときに、身につけていた、という性質のもの。たとえば、言語、自転車、逆上がり、なわとび、など。無理やり頭で理解しようとしても無駄である。とはいえ、理屈がないわけではない。身につけるには、どう体を動かさよいかを考える必要がある。もちろん、考えるだけでなく、実際に体を動かさなければならない。

スキルは、毎日やらないと鈍ってくる。少しずつでも、毎日やらないとヘタになる。毎日やっても飽きない量、いやにならない量、やり続けられる量とはどれぐらいか、毎日やっても飽きない方法、やれる方法、やりたくなる方法とは、何かを考え、工夫しなければならない。他人の方法が自分にあうかどうかはわからないので、自分で見つけることである。しかし、他人がどうやったか、どうやっているのかを聞いてみるのはいいことだ。

教員から、ライティングの表現を説明するという授業はしない。説明でできるものならば、市販のライティングの本で十分のはずだ。市販の本にはそういう表現がたくさん書いてある。とてもありがたいことだ。

ライティングは自転車に乗る訓練と考えるとわかりやすい。自転車に乗らぬものが自転車に乗れるわけではない。単純である。乗れるようになりたければ、乗る練習をせよである。書けるようになりたければ、書く練習をせよである。さあ、みんなで論文を書こう。

山元啓史  
東京工業大学教授

## 授業スケジュール

### 通常案内

この授業は参観自由です。また、ディスカッションに加わっていただいても結構です。参観につきましては、資料準備の都合上、あらかじめメールでご連絡ください。

### 直前案内

明日からライティングスキル受講の皆さんへ

担当の山元です。シラバスには平川先生も担当する記載がありますが、今年度は山元が担当いたします。

受講に際しまして、お願いがあります。授業中に、インターネットにアクセスし、資料を参照する、宿題を提出することが多いので、インターネットにアクセスできる端末（スマホ、タブレット）を持参してください。

LAH.H112-02 が授業コードです。**時間割**の 7 ページ一番下から 2 番めによりますと、教室は W833 となっています（月 5-6: W833）。遅刻しないようにおいでください。シラバスは **OCW** にあるとおりです。

よろしく願いいたします。

山元啓史

### 第 1 回 2018.6.11

1. オリエンテーション
2. 第 1 章「論文執筆は労働である」
3. 修正しよう
4. 内容はおもしろく
5. 宿題

### 第 2 回 2018.6.18

1. 図書館へいこう
2. 第 2 章「道具を手に入れろ！」
3. CloudLaTeX: CloudLaTeX にログインして、いろいろ遊んでみる。
4. 図書館: 図書館へ行き、論文を探し、論文の書き出し、リサーチクエスション、問題点の書き方を観察し、便利そうな文型を仕入れる。

5. 生協: 生協に参考図書のコーナーがあります。ぜひご覧ください。
6. Slide Share: Slide Share のプレゼンテーションファイル Cloud LaTeX の使い方
7. 宿題

### 第 3 回 2018.6.25

1. チェックシート
2. 第 3 章「書く楽しみ」
3. myfile.bib を作ってみる。
4. CloudLaTeX で BiBTeX を使ってみる。
5. 宿題

### 第 4 回 2018.7.2

1. チェックシート
2. 第 4 章「立ち話を無駄にするな」
3. CloudLaTeX: pdf 画像の組み込みと表の書き方の例 (文字化けの時は html を選んで画面からコピーペーストをしてください)
4. LaTeX のソース
5. 画像ファイル
6. BiBTeX スタイルファイル
7. 文献データファイル
8. url を論文に引用すると減点
9. インターネットからの引用は禁止 (約束 2)
10. 5 行論文
  - (a) 5 行論文を書いてみる。
  - (b) 5 行論文とは 1. はじめに, 2. 方法, 3. 結果, 4. 考察, 5. おわりにの 5 行。
  - (c) 5 行論文で思考のパターンを安定させよう。

### 第 5 回 2018.7.9

1. チェックリスト: グループで互いの論文を見て、不十分なところを検討し、チェックリストを作る。
2. 第 5 章「仲間を作れ」
3. 完成版を提出: 次の日曜日は完成版を提出するので、そのための計画をグループで

話しあえ。

4. 宿題

## 第 6 回 2018.7.23

1. 修正リスト: グループで互いの論文を見て、不十分なところを検討し、自分の修正すべきところを検討しリストを作る。
2. 第 6 章「読み直し、修正。そして育て上げる」
3. 修正計画: 次の日曜日はポスター発表版を提出するので、そのための修正計画をグループで話しあえ。
4. ポスター作り方: ポスター発表の時のポスター (大きさは A3 縦 1 枚) です。板ダンボールはこちらで用意します。ポスター発表の時のポスターテンプレートは pptx 版 pdf 版 L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 版でこれにしたがって作ること。
5. ポスター発表の方法: ポスター発表では、発表者だけでなく聴衆としてのみなさんのコメントも単位必須条件となります。
6. 宿題

## 第 7 回 2018.7.30

1. 発表会
2. 第 7 章「論文発表会」
3. 発表の仕方
4. コメントの仕方

## 第 8 回 2018.8.6

1. コメントをもらおう
2. 第 8 章「落ち葉ひろい」
3. ポスター発表での質問やコメントをもとにポスターの形式だけでなく内容についても考えてみましょう。
4. 修正しよう: ポスター発表で気がついた論文の形式的な不備。論文を引用すべきところを振り返り、修正しましょう。
5. 内容はおもしろく: 内容はおもしろく、形式はごく普通に。
6. 何度も見直す: 論文は、書き始めよりも、修正の方に時間と労力を要す。何度も見直し、友だちにチェックしてもらって修正しよう。